

2019年8月19日付、  
プロパンタンニュース紙面より抜粋

# 九州

◇ 福岡支局 ◇  
福岡市博多区中  
洲中島町3-10  
福岡県消防会館  
☎092(271)2708  
FAX092(271)2878



都市ガスエリアの豊府小学校  
に設置した電源自立型GHP  
(手前)

## LPガスGHP

# 大分市 11小学校に

## 今期、7校を防災拠点化

大分市(佐藤樹一郎市長)は、今年度事業として行った公立小学校49校(1076教室)の空調化を今月23日までに完了する。LPガス校は11校(298教室)。このうち防災拠点校に指定する7校に電源自立型GHPと災害対応バルクを設置し、教育環境の向上を図るとともに災害時の避難所機能を持たせた。

設置工事は1期(3月中旬～4月下旬)、2期(5月初旬～7月中旬)、3期(7月中旬～8月23日)に分けて行った。事業費は約29億9千万円。民間資本を活用するPFI方式を採用した。

市が防災拠点校に指定する7校はGHPの1系統を電源自立型(ダイキン工業製)とし、貯槽は980キログラムたて型防災バルク(富士工業製)を採用。都市ガスや電気が途

絶した場合はLPガスで発電した電気に対応し、防災バルクで避難者への炊き出しを行う。

防災拠点校7校のうち豊府小、明野北小の2校は都市ガスエリアにあるのが特徴。分散型エネルギー・LPガスの強みを発揮する。公立小学校は全53校あり、大規模改修を控える残り4校もプレハブ仮設教室にリースで空調を設置した。